



# 虹の里 2025年5月 第248号

発行所 ナルクびわこ湖西 発行責任者 田川鴻平 編集責任者 池本盛雄  
〒520-0522 滋賀県大津市和邇中浜 432 平和堂和邇店 2F  
TEL・FAX 077-594-0838  
Mail to: [nalc-kosei.5940838@nifty.com](mailto:nalc-kosei.5940838@nifty.com)  
URL <http://nalc-kosei.o.oo7.jp/>



## 活動の基本

○ナルクの理念（自立・奉仕・助け合い・生きがい）を、明るく、元気で、楽しみながら実現しよう

## 活動の目標

○時間預託50%、無料奉仕活動30%、仲間同士の友好・交流20%の活動比率をめざして

## 定時総会にご参加を！

6月18日 和邇コミセン

第24回定時総会を下記の要項で開催の予定です。

2年間の活動計画を決定する大事な全体会議です、皆様のご参加をよろしく願  
いいたします。

### 記

- 1, 開催月日：2025年6月18日（水）
- 2, 開催場所：和邇コミュニティセンター第2、第3会議室
- 3, 開催時間：10:00～12:00 開場9:30
- 4, 持参品：議案書、筆記具、水分補給
- 5, その他：委任状は各家庭1通：提出先は事務所提出箱、FAX、  
運営委員に5月24日までによりしくお願いいたします。
- 6, 不明な点は各運営委員に確認してください

(田川鴻平)

## 5月号 トピックス

- ◆時間預託活動 ☆9点（32人）☆事務所当番9時間（4人）
- ◆福祉活動 ☆12時間（6人）☆拠点活動2時間（11人）
- ◆環境活動 ☆12時間（6人）
- ◆今までナルク滋賀調査センターの事務局をびわこ湖西拠点がやっていたが、4月より彦根拠点に移動しました。今後の活動は、彦根拠点とびわこ湖西拠点との協力体制ですることとなりました。
- ◆ナルク本部のホームページで、4月から各拠点の会報が閲覧できるようになりました。是非、全国各拠点の広報をご覧ください・
- ◆ポッチャの体験については、しばらく2会場で続け、沢山の方の参加をお待ちしています。
- ◆4月に実施した和邇公園でのお花見は、参加者も多く楽しめました。
- ◆本部総会5月30日（金）大阪で開催

## 会員の動き

会員状況3月度（2025年4月28日時点）

入会：当月入会はありません。

退会：杉原 保子 南部B（三井G）

	2024年3月末	当月（4月）	前年度末差
会員世帯数	120	108	-12
会員数（名）	180	160	-20

### ★★★ ナルク本部拠点会報担当からの大切なお知らせ ★★★

会報掲載の記事と写真について 従来、各拠点の会報は印刷したものを本部に送っていましたが、送料の高騰やそれに携わる会員の時間制約等の問題により、本年度よりデータを本部に送って、本部HPにアップすることになりました。従って、今までよりも多くの人が見ることになります。びわこ湖西拠点の会報に寄稿される方は今まで以上にプライバシーに配慮して、記事及び写真を提出して頂くようお願いいたします。尚、総会やイベントなどの写真は、従来通り会員へのご確認をせずに掲載させていただきますので、ご了解のほどよろしくお願いいたします。尚、従来より個人電話番号は加工してUPしています。

（メールを原文のまま掲載）

# eco クラブ



## 【4月の奉仕活動のご報告】

実施日：4月18日金曜日

参加者：9人

和邇公園に集合し、和邇川沿いの遊歩道でゴミ拾いを行いました。

寒さが続いたせいかごみは少なかったです。ただ、ベンチのある所に煙草のフィルターらしきものが数十個捨てられていて、すべて取るのに時間を要しました。



活動に協力していただける方はご連絡下さい。エコクラブ花LINE ⇒

住んでいる町に恩返し  
奉仕活動を一緒に楽しみませんか？

## 【次回の清掃活動】

5月16日(金) 9時半～

集合：和邇駅前 雨天23日(金)に順延

中浜から北浜までびわ湖沿いに歩きながら、清掃活動を行います。

暑さ対策に飲み物、軍手を持参下さい。ゴミ袋とトンゴはこちらで用意します。

歩きやすい服でお越しください。

泉 090-XXXX-YYYY



## ■■■■認知症カフェ「ひだまり」だより■■■■

認知症カフェ「ひだまり」4月11日に開催

絶好の天候に恵まれ、BOHからの4名を含めて、25名参加を持って開催された。出前講座では和邇包括支援センターの保健師杉本による「最後まで自分らしく暮らすために」を解りやすく、資料を基に「人生会をしてみませんか」をテーマに話していただきました。

その後はハンドマッサージを斎藤様、奥田様の指導でペアーを組んで基本を学んだ。

(田川鴻平)

## 認知症カフェ「ひだまり」緊急連絡

皆様のご協力で3年程「大津市支援事業」として開催してきました、認知症カフェ「ひだまり」を令和7年度は開催を見送る事となりました。これまで会員の皆様に色々のご協力いただき大過なく出来ました事を「スタッフ一同」感謝申し上げます。

最後に、再度開催する時はご協力の程宜しくお願い致します。

(代表 田川鴻平)

## 健康体操教室終了のお知らせ

健康を維持する目的で、松井先生に健康体操の指導をお願いしてから3年が過ぎました。参加者の減少により健康体操を終了する事としました。自宅で出来る体操を教えたので、参加された方はトレーニングを思い出しながら、今後も自分なりの健康維持を続けて下さい。

(藤岡睦子)



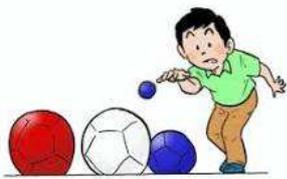
## 5月、6月の出納日

出納日	5月26日(月)	6月23日(月)	10:00~12:00	ナルク事務所
	5月30日(金)	6月30日(月)	10:00~12:00	ナルク事務所

## 会議・集会のお知らせ



5月	地区別月例会	—	—	日時は各地区の自主判断
	新入会員説明会	8日(木)	10:00~12:00	ナルク事務所
	幹事会・運営委員会	26日(月)	10:00~12:00	ナルク事務所
6月	定時総会	18日(水)	10:00~12:00	和邇コミュニティーセンター
	新入会員説明会	12日(木)	10:00~12:00	ナルク事務所
	幹事会・運営委員会	23日(月)	10:00~12:00	ナルク事務所



## ボッチャ 練習日

5月	6月	時 間	会 場
8日(木)	12日(木)	13:30~15:30	真野北支所
27日(火)	24日(火)	14:00~16:00	和邇コミュニティーセンター



## 同好会日程表(5月・6月)

同好会の名称	開催日時・場所			講師・世話役
	5月	会場	6月	
絵画教室	6日(火) 13:30～	ナルク事務所	3日(火) 13:30～	刈 谷 拓 爾
食いしん坊 クラブ	21日(水) 9:30～12:30 桜ごはん・いさざ豆・ 大豆と塩漬けなす煮 ・新玉ねぎ料理	真野北公民館	18日(水) 9:30～12:30 山椒ごはん・新ジャ ガイモ料理他	田 川 鴻 平
健康麻雀	5日・12日・19日 26日(月) 13:00～	真野北公民館	2日・9日・16日 23日(月) 13:00～	田 中 竹 志
虹の里 句会	休会	—	未定	青 野 邦 彦
ふらっとサロン	8日(木)ポッチャ 体験 22日(木) 13:30～15:30	真野北公民館	12日(木)ポッチャ 体験 26日(木) 13:30～15:30	清 水 俊 雄
パソコン・ スマホクラブ	28日(水) 10:00～12:00	ナルク事務所	25日(水) 10:00～12:00	萩 村 充 宏
健康体操と ピンポン	8日・15日・22日 (木) 13:00～	伊香立環境 交流館2階	5日・12日・19日・ 26日(木) 13:00～	泉 高 橋 郁 夫 昌 平
フォト&ウォー キング・クラブ	5日(月・祝) 10時30分 堅田駅集合(暫定)	守山市 「下新川神社」 すし切祭り	未定	内 田 晴 己
ぶら歩き	休会	—	未定	渡 辺 秀 雄 上 田 忍 子
古代近江を 学ぼう会	8日(木)14:00 ～16:00	ナルク事務所	12日(木)14:00 ～16:00	池 本 盛 雄

《虹の里句会》令和七年四月紙上例会

季題Ⅱ自由

はなおれ  
花折の峠へつづく山桜かな

さくら  
青野あくね

〔評〕さりげない描写だけど風景が鮮やかに浮かびます。

季語は山桜。

―墓参帰りの近鉄車中で―

春うらら双子の乳児すやすやと

八木賀壽

〔評〕詠み手と同じ視線になれる、臨場感のある微笑ま

しい句ですね。季語は春。

チューリップ咲いて悩みも忘れたり

青野智翠

〔評〕確かにチューリップの開花は一寸した悩みやスト

レスを忘れさせるパワーがありますね。季語はチュ

リップ。

《選者吟》

中天に春満月や訃報くる

坂本美智子

## 虹 端午の節句は日本で「五月五日」に固定

「端午の節句」の「端午」とは、もともと五月の「端」（はじめ）の「午」（うま）の日という意味で、中国では古くからこの日に薬草採りや野遊びの行事が行われた。

それが日本に採り入れられてから、「五月五日」と固定した。朝廷では「五日節会」（いつかのせちえ）といって菖蒲机（机に薬草としての菖蒲をのせた）を献じ、騎射（うまゆみ）の行事があった。日本でもこの日に薬草採りが行われたことは、「万葉集」の歌でも知られる。民間でも邪気を払うために菖蒲やヨモギを軒に刺し、石合戦や凧揚げ、流鏝馬（やぶさめ）などを行った。こうした勇ましい行事が多いため、やがて男子の節句とされるようになり、江戸時代には三月三日の雛節句とともに大切にされ、柏餅や粽（ちまき）を食べる風俗も広まった。

（池本）

賛助会員として、糖尿病クリニック堅田殿の登録を頂いております。